



令和3年度

学校関係者評価委員会 (最終報告書)



鹿児島県立沖永良部高等学校

〈 目 次 〉

令和3年度 学校評価の実施について(6月配布分)	P 1
職員用 学校評価用紙(1 2月配布分)	P 3
職員最終報告	P 4
生徒用 学校評価用紙(1 2月配布分)	P 5
生徒最終報告	P 6
保護者用 学校評価用紙(1 2月配布分)	P 8
保護者最終報告	P 9
学校評価アンケートまとめ	P 10

令和3年度学校評価の実施について

令和3年6月14日

学校評価委員会（久保・堀之内・下瀬・小倉・村松・小屋敷・大倉・塩満）

1 今年度の実施内容

中間評価（7月）、最終評価（12月）の2回実施する。

【全体の流れ：目的】

学校として目指すべき重点目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を評価することにより、組織的・継続的に学校運営を改善していく。

- 昨年度の学校評価最終報告の反省を踏まえ、今年度の目標に合わせた計画を立てて実行する。
- 7月に中間評価を実施することで現在の進捗状況を把握し、その状況に応じて目標達成に向けての改善策を立て直し実行する。
- 12月に最終評価を実施し、今年度の目標達成状況を把握し、次年度の課題や目標を明確にする。

今年度の目標（令和3年度 学校経営の概要から）

○具体像

学校像：活力と魅力に溢れ、進路志望を実現でき、地域の期待に応え発展する学校

職員像：使命感と情熱に燃え、常に資質向上に努め、意識変革を進める職員

生徒像：自ら教養を高め(好学)、人間形成に努め(道義)、粘り強く目標を達成する(根性)生徒

○重点的な推進事項

- (1)学力の向上と資格取得への取り組みを一層促進し、進路実現100%を目指す。
- (2)心身ともに健康・安全で、主体的に行動し粘り強く努力する生徒を育成する。
- (3)小中学校や地域との連携を深めるとともに、積極的に情報を発信し地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努め、募集定員確保に繋げる。
- (4)安心安全で、働きがいのある学校づくりに取り組む。

（1）評価の領域・評価の方法（7月の中間評価では、保護者アンケートは実施しない。）

①教職員による自己評価

- ・教育目標、校務分掌、学級経営、教科指導、生徒指導、進路指導、保健指導の7分野
- ・平成25年度検討し、36項目を24項目に厳選
- ・平成27年度「生徒用 評価アンケート」と対比する11項目を追加
- ・平成28年度 改善欄（下段）を追加
- ・平成29年度「生徒用 評価アンケート」項目一部変更・順番入れ替え
- ・令和3年度 項目の変更

②生徒・保護者による評価アンケート

- ・保護者用12項目
- ・生徒用11項目（平成25年度から授業評価は各教科担任が独自のアンケートを行うという形に変更）
- ・平成27年度生徒用の項目一部変更
- ・平成28年度保護者用に改善欄（下段）を追加
- ・平成29年度生徒用の項目一部変更・順番入れ替え+アンケート（下段）を追加
- ・令和3年度 項目の一部変更

③学校関係者評価委員による評価

- ・学校関係者評価委員会を年3回（6、11、2月）開催する。学校経営全般、各部、各学年、各教科の目標や努力事項について、「自己評価」の結果を踏まえ、意見交換及び学校への提言を行う。

④評価の段階 A～Dの4段階とする。

- A…良い（満足度80%以上）
- B…概ね良い（満足度60%以上～80%未満）
- C…あまり良くない（満足度40%以上～60%未満）
- D…悪い（40%未満）

（２）結果報告の方法（①は中間、最終報告 ②・③・④は最終報告）

- ①全職員，学校関係者評価委員へ集約したものを文書で報告する。
- ②県教委へ文書で報告する。
- ③保護者には次年度のPTA総会で報告する。
- ④HP等に掲載する。

2 実施に向けての予定

学期	月	実施内容
1 学期	4 月上旬	今年度の目標に合わせて，それぞれの部・学年・学級・教科そして個人で方針，方向性を検討する。
	5 月～6 月	委員会による実施方法・評価項目等の見直し確認 6 月の運営委員会と職員会議で審議する。
	7 月 2 日（金）	中間評価を実施 全職員，生徒にアンケート用紙を配布
	7 月 9 日（金）	①生徒用アンケート用紙の回収 （担任が回収，副担へ提出） ②職員用アンケートの提出 → 教務 酒匂・谷山
	7 月 16 日（金）	①生徒用アンケートの集計（副担）→ データ入力完了 ②職員用アンケートの集計（教務 酒匂・谷山） → データ入力完了
	8 月 30 日（月）	全職員へ中間評価の結果・分析報告
2 学期	9 月上旬	中間報告を受けて，それぞれの部・学年・学級・教科そして個人で再度方針，方向性を検討する。
	11 月下旬	中間評価の結果と分析を，学校関係者評価委員会へ報告
	11 月 29 日（月）	最終評価を実施 全職員・保護者・生徒にアンケート用紙を配布
	12 月 3 日（金）	①生徒用・保護者用アンケート用紙の回収 （担任が回収，副担へ提出） ②職員用アンケートの提出 → 教務 酒匂・谷山
	12 月 17 日（金）	①生徒・保護者用アンケートの集計（副担）→ データ入力完了 ②職員用アンケートの集計（教務 酒匂・谷山） → データ入力完了
3 学期	1 月下旬	結果の集計，報告 結果報告後の感想・意見・提言の募集
	2 月中旬	学校関係者評価委員会，職員への最終報告
	3 月	改善へ向けての検討会等（職員会議），県教委への報告
次年度 1 学期	4 月 5 月	学校評価計画・結果等のHP等への掲載 PTA総会で保護者に説明

令和3年度 第2回学校評価（職員用）

※提出日 1 2 月 3 日（金）までに酒匂まで

下記の事項について自己評価をお願いします。各項目の評価A～Dの欄に1ヶ所○印をお願いします。
12月3日（金）までに、酒匂へ提出してください。提出の際は、教務の机の上に封筒を用意しておきますので、職員名票に○印をつけてください。

【評価】 A…良い(満足度80%以上) B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満) C…あまりよくない(満足度40%以上～60%未満) D…悪い(40%未満)

分野	番号	評価項目	評価			
			A	B	C	D
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。				
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。				
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。				
校務分掌	4	校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ができるようにしている。				
	5	業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている。				
学級経営	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的生活態度の確立に努めている。				
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。				
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。				
教科指導	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。				
	10	適切な課題を与え、宅習時間の確保に努めている。				
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。				
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に応えている。				
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。				
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。				
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。				
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。				
	17	情報モラルについて指導している。				
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。				
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。				
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。				
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている。				
	22	栄養・睡眠など基本的生活習慣の指導に努めている。				
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。				
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。				

	番号	評価項目	評価			
			A	B	C	D
生徒アンケートの対比用	1	生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。				
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。				
	3	生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。				
	4	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。				
	5	生徒の学力に応じた予習・復習等に取り組ませている。				
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけさせている。				
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。				
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。				
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。				
	10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。				
	11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。				

具体的に何か改善してほしいことがありましたら、お書きください。

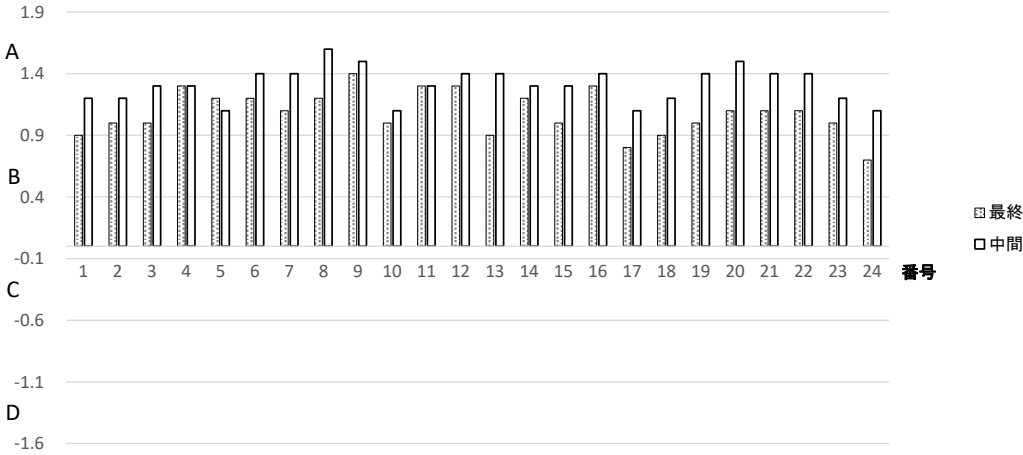
令和3年度 学校評価(職員) 最終報告

教育ビジョン	知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたり意欲的に自己実現を目指す心身ともに健康で創造性と協調性に富み、これからの社会に貢献できる人材の育成。
教育目標	日本国憲法及び教育基本法 の精神及び、県教育大綱並びに県教育振興基本計画の基本目標である「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」に拠って公教育の責務を果たし、校訓「好学」「道義」「根性」が具現され、人間性豊かで夢と希望に満ちた人間の育成に努める。また、郷土を愛し地域社会に貢献し、信頼される心豊かな人材の育成に努める。
本年度の重点的な推進事項	(1)学力の向上と資格取得への取組を一層促進し、進路実現100%を目指す。 (2)基本的生活習慣を確立させ、主体的に行動し、粘り強く努力する生徒を育成する。 (3)小中学校や地域との連携を深めるとともに、積極的に情報を発信し、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努め、募集定員確保に繋げる。
来年度への課題	①職員・生徒間の比較の評価に際が大きかった項目、生徒の自己評価・家庭学習アンケートで評価の低かった項目について、具体的な改善の手立てを検討する。 ②保護者との連携をさらに強化し、本校の教育活動の実態や成果をより積極的に発信していく。

分野	番号	評価項目	評価				回答者数	平均値	総合評価	昨年12月	備考
			A	B	C	D					
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。	3	19	2	1	25	0.9	B+	A-	
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。	3	20	2	0	25	1.0	B+	A	
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。	4	19	2	0	25	1.0	B+	A	
校務分掌	4	校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ができるようにしている。	12	10	3	0	25	1.3	A-	A-	
	5	業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている。	10	12	3	0	25	1.2	A-	A	
学級経営	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的生活態度の確立に努めている。	11	11	3	0	25	1.2	A-	A	
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。	9	12	4	0	25	1.1	A-	A-	
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。	11	11	3	0	25	1.2	A-	A	
教科指導	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。	11	13	1	0	25	1.4	A	A	
	10	適切な課題を与え、学習時間の確保に努めている。	4	18	3	0	25	1.0	B+	A-	
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。	8	16	1	0	25	1.3	A-	A	
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に答えている。	9	15	1	0	25	1.3	A-	A	
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。	6	15	3	1	25	0.9	B+	A	
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。	11	10	4	0	25	1.2	A-	A+	
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。	8	13	4	0	25	1.0	B+	A	
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。	11	12	2	0	25	1.3	A-	A+	
	17	情報モラルについて指導している。	5	14	6	0	25	0.8	B+	A-	
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。	6	14	5	0	25	0.9	B+	A-	
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。	5	17	3	0	25	1.0	B+	A-	
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。	8	14	3	0	25	1.1	A-	A-	
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている。	8	14	3	0	25	1.1	A-	A	
	22	栄養・睡眠など基本的生活習慣の指導に努めている。	6	17	2	0	25	1.1	A-	A	
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。	8	13	4	0	25	1.0	B+	A-	
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。	3	17	4	1	25	0.7	B+	A-	

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

職員中間・最終評価



令和3年度 第2回学校評価のアンケート調査（生徒用）

【自己評価】

今の学校生活や学習状況などを点検することで、自分を見つめ直す機会となります。そして、今後の学校生活や学習に生かすことができます。その参考資料にしますので、自分自身の取り組みについて評価をしてください。

（ 男 ・ 女 ）

【評価】

- A…良い(満足度80%以上)
B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満)
C…あまり良くない(満足度40%以上～60%未満)
D…悪い(40%未満)

番号	評価項目	評価			
		A	B	C	D
自己評価	1 授業に対し真剣に取り組むことができる。				
	2 授業の内容をよく理解できる。				
	3 授業で分からないことについて質問する。				
	4 家庭で宿題や課題をきちんとやっている。				
	5 家庭で予習や復習をきちんとやっている。				
	6 健康に留意し、規則正しい生活を心がけている。				
	7 将来の進路(仕事、生活)について、しっかり考えている。				
	8 清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。				
	9 服装(シャツ・靴下)、髪など身なりをきちんと整えている。				
	10 家庭への配付物等は、保護者に確実に渡している。				
	11 体育祭や文化祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。				

以下のアンケートにも答えてください。

番号	アンケート項目 ※該当する番号や項目を○で囲む。
アンケート	家庭で1日の「宿題・課題」に取り組む時間を教えてください。ただし、土日は除く。 (1. しない 2. 1時間以内 3. 1～2時間 4. 2～3時間 5. 3～4時間 6. 4時間以上) 「1. しない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～5から1つ選んでください。 1. 宿題・課題が出されない。 2. 宿題・課題は出されているが、やる気が起こらない。 3. 宿題・課題は出されているが、学校で済ませる。 4. 宿題・課題は出されているが、解き方が分からない。 5. その他()
	「宿題・課題」以外の「予習・復習」の大切さを理解していますか？ (1. している 2. どちらかといえばしている 3. どちらかといえばしていない 4. していない)
	上記の2に取り組む時間を教えてください。ただし、土日は除く。 (1. しない 2. 30分以内 3. 30分～1時間 4. 1～2時間 5. 2～3時間 6. 3時間以上) 「1. しない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～5から1つ選んでください。 1. 必要性を感じていない。 2. 必要性は感じているが、やる気が起こらない。 3. 必要性は感じているが、学校で済ませる。 4. 必要性は感じているが、やり方が分からない。 5. その他()
	家庭における「宿題・課題」や「予習・復習」への取り組みは十分だと思いますか？ (1. 思う 2. どちらかといえば思う 3. どちらかといえば思わない 4. 思わない) 「3. どちらかといえば思わない」「4. 思わない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～7から2つ以内で選んでください。ただし、選択肢1, 2を選んだ人は()内にも答えること。 1. 帰宅時間が遅くなる。(通学 部活動 アルバイト 塾 習い事 その他 ()) 2. 疲れて眠くなる。(通学 授業 部活動 アルバイト 塾 習い事 家の手伝い その他 ()) 3. 家庭で集中できる場所がない。 4. 「宿題・課題」の量が多い。 5. やる気が起こらない。 6. やり方が分からない。 7. その他()

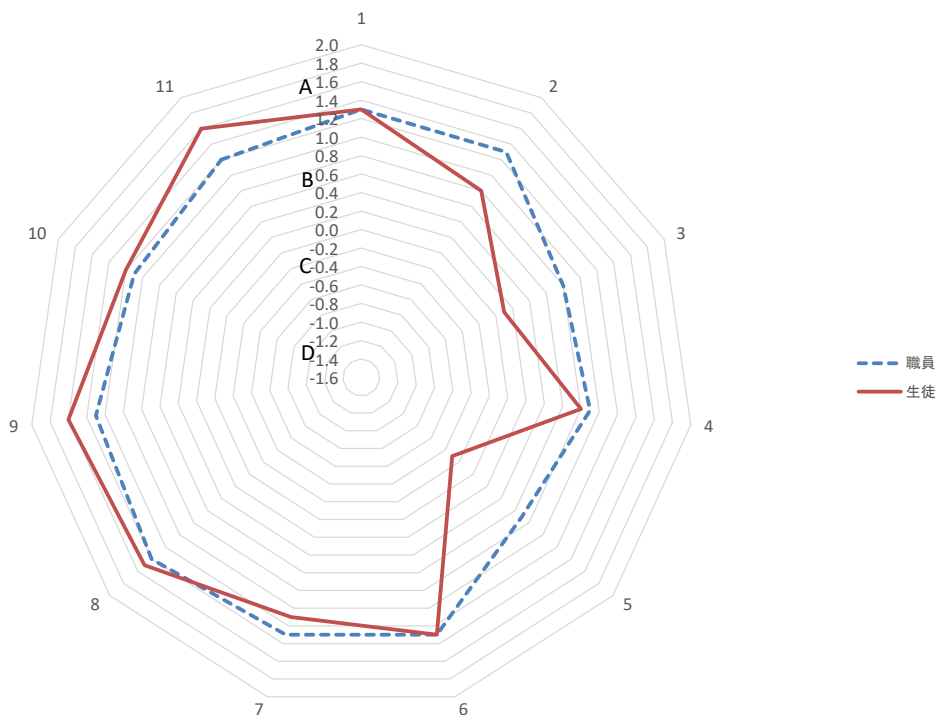
令和3年度 学校評価(生徒自己評価) 最終報告

	番号	評 価 項 目	評 価				回答者数	平均値	総合評価	昨年12月
			A	B	C	D				
生徒自己評価	1	授業に対し真剣に取り組むことができる。	95	114	15	4	228	1.3	A-	A-
	2	授業の内容をよく理解できる。	49	129	45	5	228	0.8	B+	B
	3	授業で分からないことについて質問する。	36	78	91	23	228	0.1	B-	B-
	4	家庭で宿題や課題をきちんとやっている。	76	95	45	12	228	0.8	B+	A-
	5	家庭で予習や復習をきちんとやっている。	27	64	93	44	228	-0.3	C	C
	6	健康に留意し、規則正しい生活を心がけている。	114	83	25	6	228	1.3	A-	B+
	7	将来の進路(仕事、生活)について、しっかり考えている。	101	81	40	6	228	1.1	A-	B+
	8	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。	127	89	10	2	228	1.5	A	A-
	9	服装(シャツ・靴下)、髪など身なりをきちんと整えている。	143	74	10	1	228	1.6	A	A
	10	家庭への配付物等は、保護者に確実に渡している。	105	94	21	8	228	1.2	A-	A-
	11	体育祭や文化祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。	153	64	9	2	228	1.6	A	A

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

	番号	評 価 項 目	評 価				回答者数	平均値	総合評価	昨年12月
			A	B	C	D				
職員対比アンケート	1	生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。	7	15	1	0	23	1.3	A-	A
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。	8	14	1	0	23	1.3	A-	A
	3	生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。	7	10	6	0	23	0.8	B+	A-
	4	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。	4	15	4	0	23	0.9	B+	B+
	5	生徒の学力に応じた予習・復習等に取り組ませている。	3	15	4	1	23	0.7	B+	B+
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけさせている。	9	12	2	0	23	1.3	A-	A
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。	9	12	2	0	23	1.3	A-	A
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。	9	13	1	0	23	1.4	A	A
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。	8	14	1	0	23	1.3	A-	A
	10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。	5	16	2	0	23	1.1	A-	B+
	11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。	7	14	2	0	23	1.2	A-	A

生徒・職員対比アンケート



令和3年度 沖永良部高等学校 学校評価(生徒アンケート) 最終報告

アンケート項目												
番号	アンケート項目											
	中間	1	2	3	4	5	6	計				
	最終	28	97	79	17	5	4	230				
		33	112	61	12	4	5	227				
1	中間	13	7	8	0	0		28				
	最終	16	7	8	1	1		33				
2	中間	57	110	40	20			227				
	最終	73	111	26	17			227				
3	中間	52	89	56	17	2	3	219				
	最終	73	79	51	13	4	3	223				
	中間	10	30	7	4	1		52				
	最終	10	52	4	7	0		73				
	中間	23	72	89	46			230				
	最終	24	72	81	51			228				
4	中間	22	4	0	9	0	1	習い事	塾	アルバイト	家の手伝い	その他
	最終	18	3	0	12	0	0	0	0	0	0	1
	中間	69	7	12	25	0	1	2	0	3	0	3
	最終	66	3	4	28	1	1	0	0	2	0	0
	中間	8										
	最終	9										
	中間	3										
	最終	1										
	中間	73										
	最終	69										
	中間	14										
	最終	16										
	中間	1										
	最終	2										

～「その他」のまとめ～

① 勉強は学校でするものである。

② 家でやってない

アンケート質問事項

令和3年度 第2回学校評価のアンケート調査について（お願い）

保護者の皆様には平素から本校の教育活動に対し御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、本校では生徒たちの学校生活をより充実させ、学校の活性化を図るために、今年度も本校の教育活動等に関して、保護者の方々に評価していただくことにしました。下記のアンケートの各項目のA～Dの欄に一ヶ所だけ○印を付けて、12月3日（金）までに学級担任へ御提出くださるようお願いいたします。
なお、結果につきましては来年度のPTA総会及びホームページで公表します。

【評価】

- A…良い（満足度80%以上）
B…概ね良い（満足度60%以上～80%未満）
C…あまり良くない（満足度40%以上～60%未満）
D…悪い（40%未満）

番号	評 価 項 目	評 価			
		A	B	C	D
1	子どもの学力に応じた授業が行われている。				
2	子どもは授業の内容をよく理解している。				
3	学校から出される課題や宿題の量や質は適切だと思う。				
4	子どもが学習活動に対し真剣に取り組んでいる。				
5	子どもの学力が正しく評価されている。				
6	子どもの生活状態や健康状態が十分把握されている。				
7	子どもの個性や能力、適性に応じた進路指導が行われている。				
8	子どもの行動、生活面について適切な生徒指導が行われている。				
9	子どもと教師とのコミュニケーションがきちんととれている。				
10	家庭と学校とのコミュニケーションがきちんととれ、学校からの連絡が確実に届いている。				
11	保護者の意見に教師が十分耳を傾け、良好な関係ができています。				
12	生徒や地域にとって魅力ある学校行事が行われている。				

具体的に何か改善してほしいことがありましたら、お書きください。

令和3年度 沖永良部高等学校 学校評価（保護者） 最終報告

番号	評価項目	評価(人数内訳)				回答者数	平均値	総合評価	昨年度評価	評価基準	
		A	B	C	D					A+	2
1	子どもの学力に応じた授業が行われている。	65	126	16	1	208	1.1	B+	B+	A+	2
2	子どもは授業の内容をよく理解している。	40	105	60	6	211	0.5	B-	B	A	1.6
3	学校から出される課題や宿題は十分だと思う。	59	129	21	1	210	1.1	B+	B+	A-	1.3
4	子どもが学習内容に対し真剣に取り組んでいる。	55	99	50	7	211	0.7	B	B	B+	1
5	子どもの学力が正しく評価されている。	80	121	9	0	210	1.3	A-	A-	B	0.6
6	子どもの生活状態や健康状態が十分把握されている。	70	118	20	2	210	1.1	B+	B+	B-	0.3
7	子どもの個性や能力、適性に応じた進路指導が行われている。	74	121	15	0	210	1.2	B+	B+	C+	0
8	子どもの行動、生活面について適切な生徒指導が行われている。	81	115	13	1	210	1.2	B+	B+	C	-0.3
9	子どもと教師とのコミュニケーションがきちんとして行われている。	74	116	19	1	210	1.2	B+	B+	C-	-0.6
10	家庭と学校とのコミュニケーションがきちんとし、学校からの連絡や配布物が確実に届いている。	67	109	31	3	210	1.0	B+	B+	D+	-1
11	保護者の意見に教師が十分耳を傾け、良好な関係ができている。	66	118	25	1	210	1.1	B+	B+	D	-1.3
12	生徒や地域にとって魅力ある学校行事が行われている。	77	107	22	3	209	1.1	B+	B+	D-	-1.6

26

- ・回答者数は増加した。(R2(90.1%)→R3(92.1%))
- ・総合評価については昨年度とほとんど変わらない。項目2が低下した。
- ・昨年に比べ、Dの評価が減少した(R2(合計28)→R3(合計26))。

令和3年度 学校評価アンケートのまとめ

実施日：令和3年7月と12月

対 象：生徒・本校職員（2回）、保護者（1回）

【アンケート結果の分析】

（職員）

① 職員の自己評価については、昨年と比較して軒並み低下しており、特に低下していたのが5項目で、項目8「個性を伸ばす指導」、項目13「生活指導」、項目19「指導助言」、項目20「進学・就職指導」、項目24「性教育の指導」であった。また、1項目（項目5「業務の早期計画」）については評価が向上した。

② 平成28年度より、生徒の自己評価と対比できるように評価項目を追加したが、特に評価に差異が現れた項目については、以下の通り。

・項目3「質問できる環境」……職員「B+」生徒「B-」

※昨年は職員「A-」生徒「B-」で多少悪化

・項目5「予習・復習」……職員「B+」生徒「C」

※昨年は職員「B+」生徒「C」で現状維持

対比する評価項目の文章が全く同じではないことに考慮する必要があるが、授業内容の更なる工夫や放課後等に生徒が自ら質問に来るような雰囲気づくり、自宅学習における生徒の状況把握が必要である。

（生徒）

③ 生徒の自己評価については、昨年度と比較して大半が上昇しており、評価が下がったのは2項目で、項目3「質問」、項目4「宿題や課題」であった。また、項目5「予習・復習」でC・Dが全体の約60%であった。また、項目1「授業態度」、項目2「内容理解」、項目6「規則正しい生活」項目8「校内美化」項目11「学校行事」については評価が向上した。

平成30年度から新たに追加した生徒のアンケート（家庭学習）は、昨年と比較し項目1「家庭での宿題・課題時間」と項目3「家庭での「宿題・課題」以外の「予習・復習」時間」、項目4「家庭での「宿題・課題」以外の「予習・復習」態度」に悪化が見られた。また、中間と最終では大きな差異はなかったが、項目1「家庭での宿題・課題時間」で1時間以下が7月中旬では全体の約54%。12月最終が約63%で「しない」割合が増加した。

「宿題・課題」「予習・復習」を「しない・取り組みが十分でない」理由の1番が「やる気が起こらない」で全体の約38%であった。次に「疲れて眠くなる」「帰宅時間が遅くなる」が上位に上げられる。昨年度も「やる気が起こらない」（約45%）「疲れて眠くなる」「帰宅時間が遅くなる」が同様に並んでいる。

理由の上位は「疲れて眠くなる」「帰宅時間が遅くなる」と部活動の影響が大きい結果となった。

自宅ではもちろん学校の隙間時間の活用も含めた時間確保や進路目標を見据えた学習に対する意識をさらに高めていく取り組みが必要である。また、保護者の協力なしに家庭学習は行えないことから三者面談を生かし現状の説明や家庭環境の改善の協力も不可欠である。

（保護者）

③ 保護者の学校評価では、項目全体でD評価が減少した（昨年度28、今年度26）。総合評価は昨年度とほぼ同じで、評価が低下したのは項目2「子どもの授業態度」であった。また、評価以外に自由記載の改善要望の欄では、昨年度同様多く意見が寄せられ、多岐にわたる内容であった。次年度以降、沖永良部高校へ入学させて良かったと思えるような取り組みや工夫改善を今後も継続していきたい。

【来年度へ向けた課題】

① 職員－生徒間の比較の評価に差異が大きかった項目について、具体的な改善の手立てを検討する。

② 生徒の自己評価・家庭学習アンケートで評価の低かった項目やアンケート結果等を分析し、具体的な改善手立てを検討する。また、家庭学習アンケートは来年度以降も継続し、課題の発見に役立てる。併せて、比較用評価項目の文章については、今後も検討・改善を続け、調査の効果を高めていく必要がある。

③ 保護者との連携をさらに強化し、本校の教育活動の実態や成果をより積極的に発信していく。

④ 職員の自己評価がここ数年で低下していたことから、余裕を持った教育活動を行えるように今回の結果を全体で共有し、業務改善等に繋げる必要がある。